

議長通信



三角 良人 議長

高齢社会対策基本法

高齢社会対策基本法をご存知でしょうか。この法律は5年ごとに見直されており、平成24年9月7日以来の大綱改定が平成30年2月に行われました。

大綱では、我が国の高齢者の体力年齢は若くなっており、就業・地域活動など何らかの形で

社会との関わりを持つことについての意欲も高いこと、65歳以上を一律に高齢者とみることはもはや現実的なことではありません。なりつつあることが示されています。

このような状況を踏まえ、全ての人が安心して高齢期を迎えられるよう、就業、介護、医療、まちづくり、消費、交通、居住、社会活動、生涯学習、世代間交流など様々な分野において支援やセーフティネットの整備を図る必要があります。

今後、我が国は、これまで経

験したことの少ない人口減少社会、高齢社会に入っていきます。人口の高齢化に伴って生ずる様々な社会的課題に対応することは、高齢者のみならず、若年層も含めたすべての世代が満ち足りた人生を送ることのできる環境を作ることを意味します。

こうした認識に立ち、本町のまちづくりも取り組みを進めていくことが重要ではないでしょうか。

すまっ子未来ちゃん



作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

～タブレット端末を導入～

本町議会では、議会改革の取組みの一つとして、議会運営の効率化、議会活動の活発化を目指し、タブレット端末の導入について検討してきました。

平成30年9月定例会からタブレットを活用し、会議における資料等を電子データ化し、ペーパーレスでの会議運営を行っています。

会議以外にも、災害時の情報収集や緊急連絡など多角的な活用を考えています。

本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議を生でみてみよう！



次の定例会は
3月1日からの予定です。

訂正とお詫び

前回発行の議会だより208号で、3ページの城山区長のお名前に誤りがありました。

訂正してお詫びいたします。

誤:釜屋 聖文さん

正:釜谷 聖文さん

ホームページで本会議の会議録を公開しています。

須恵町議会 検索



平成23年以降の会議録を掲載しています。ぜひご覧ください。



執行部の答弁は実行されているのか？ 一般質問のその後

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。

歩道にある街路樹の撤去は (平成29年6月議会)

質問 城山区の歩道にある銀杏は大木となり、凸凹が生じているため小学生や高齢者、ベビーカーを押す歩行者は危険です。骨折など負傷された高齢者もいると聞いており、区の総会でも改善の要望が出されています。

また、木の撤去後の歩道の整備も検討を。

答弁 町道城山～新原線歩道内の銀杏は樹齢40年以上で、舗装面を持ち上げる「根上がり」現象を起こし、通行の妨げになっています。平成28～30年度にかけて撤去し、舗装面の復旧も計画しています。

県道志免～須恵線の街路樹についても、県と協議し要望をあげていただければ、段階的に対応していくとの回答を得ています。

その後

進捗状況 町道城山～新原線の歩道にある街路樹については、平成29年度中に前倒しで5本を撤去し、舗装の整備も行っています。

また、接続する県道にある街路樹についても、県土整備事務所に要望を行っており、協議中です。

健康寿命を延ばす取り組みは (平成29年12月議会)

質問 介護保険利用者の多くが80歳以上です。健康寿命を延ばし、フレイル（高齢になって筋力や活力が衰えた段階）になるのを防ぐため、より早い段階から取り組みを始めることが重要です。

団塊の世代が75歳以上になる2025年を見据え、運動・栄養、社会参加などにより、60～74歳のヤングシニアの健康づくりに重点を置いた取り組みが必要では。

答弁 健康寿命・健康長寿を行政が叫んでも、健康に関しては個人の問題であり、個人がどのように意識改革するかが重要です。行政はその莫大な範疇の事業を、関係各課で選別・実施しており、きっかけづくりになることを期待しています。

食からの健康づくりについては、県内でも高い評価をいただいておりますが、健康増進計画のアンケートをもとに、今の事業を見直し、さらに充実させていきたいと思っております。

子どもの居場所づくり事業の後は (平成30年3月議会)

質問 子どもの居場所づくり事業が始まり、2年が経過しています。子どもの数も年々増え、子どもたちも楽しく過ごしており、内容も充実していると聞いています。この事業は3年間の補助金で運営しており、残り1年となりました。シルバー人材センターに委託しており、高齢者の方々も楽しく活動されています。

補助金がなくなった後も継続してほしいとの声があがっています。

答弁 この事業は、国庫補助金、町委託金、保護者負担金で運営しています。事業継続のためには、平成30年度で終了する国庫補助金分をどう補填するか、今後事業内容を精査し、方向性を示したいと考えています。



その後

進捗状況 委託先のシルバー人材センターとの協議の結果、現状の町委託金と保護者負担金等で運営可能ということになり、平成31年度も継続します。

進捗状況 現在実施している事業の一部をご紹介します。

- 歯科疾患検診
40・50・60歳を対象に、町内歯科医院で実施しています。(対象者には町から受診券を送付)
- 体重測定100日チャレンジ事業
18歳以上を対象に100日間体重を測ることで生活習慣をふりかえる健康づくりに、現在200名が取り組んでいます。
- 健康測定事業
地域コミュニティのイベントで健康相談を実施しています。
- 生活習慣を見直すための集団保健指導
昨年の特設保健指導対象者と高血圧者を対象に保健指導と味噌汁の試飲を実施しています。



その後